



岩手県臨床衛生検査技師会ホームページ がリニューアルされました



旧ホームページ

新ホームページ



このたび岩手県臨床衛生検査技師会のホームページをリニューアルいたしました
より快適にご使用頂けるよう各種コンテンツがスッキリ見やすいホームページと
なっております

今後ともより一層ご活用くださいますようお願い申し上げます

令和元年度 第6回理事会議事録

日 時： 令和2年5月30日（土曜日）

場 所： 岩手医科大学付属病院内丸メディカルセンター 2F 技師研修室

出席者： 行森良一 菊池英岳 畠山秀樹 高橋一博 宮本祥一

川村将史 千葉拓也 井上幸男 下川波歩 山崎勝登志

はじめに（行森）

暑い中お休みのところお集まりいただきありがとうございます。今回で令和元年度の締めくくりということで、総会はいつもリリオで開催していましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の関係で会員を集約せず、常務理事と盛岡地区役員のための形をとらせていただきました。また議案書のトップページの電話番号が間違っておりましたので訂正させていただきます。

I. 報告事項（行森）

2020年10月17日・18日いわて県民情報センター（アイーナ）で開催予定であった2020年度第9回北日本支部医学検査学会は新型コロナウイルス感染拡大を勘案し開催を中止になった。

仙台で開催予定であった第69回日本医学検査学会は、令和2年9月5日・6日会場幕張メッセ国際会議場・国際展示ホールに変更になった。6月末時点での新型コロナウイルス感染症の状況や推移をもとに開催規模や開催形態（オンライン開催、ハイブリッド開催、紙面発表等）の最終判断を行う予定ということで6月末にアナウンスがあるものと思われる。（日臨技のほうから一斉メールで連絡があると思う。）

新型コロナウイルス感染症対策、地域の市町村の主な活動状況ということで先週県の医師会へ行森会長と下川事務局長と医師会の事務局長と面談をしてきた。一関市と宮古市の地域外来検査センターの抜粋した資料について説明があった。一関地域外来検査センターについて、5月18日から実施されている新型コロナウイルス感染症検査の登録医療機関業務マニュアルの内容は、PCR検査が必要になった方が検査（ドライブスルー方式：予約制）を受けるまでのながれについて書いてある。宮古市地域外来検査センターについても同じく5月18日からドライブスルー方式のPCR検査がおこなわれている。この後久慈市と花巻市でドライブスルー方式のPCR検査を予定している。検査技師も検査に関与したほうが良いと思われる。関与するとなれば検体採取や採取した検体の梱包等の対応が見込まれる。実際実施するとなれば訓練が必要となり、人を集められないという可能性もでてくる。一関市でPCR検査を実施する際検査技師はどうかという案がでたが日常勤務をしている人たちをすぐに検査に来てもらえるかという問題があったため今回は見送った。ドライブスルー方式のPCR検査に関しては現在各市の医師会が保健所とタイアップをして検査をおこなっている。これから予定の久慈市や花巻市について県技師会として関わっていったほうが良いものかどうか意見を頂きたい。関わるとしても地区医師会がそれぞれ出来る形をとっているの、立ち上げの時に県技師会が協力出来ることを各地区の医師会に紹介し、必要な場合は各地区医師会が県技師会に連絡してくる可能性がある。途中から関わることは難しい感じである。日臨技からは待っているだけではなく働きかけをという話がきている。もし、医師会と県技師会

(い わ て)

が連名で各施設に病院長宛で協力要請を出したとして誰が検体採取を行い（採取方法を取得した検査技師を準備しておくべきか）誰が梱包を行うか（梱包作業をする場合は講習会を受けなければならない）という問題がある。いずれ参加するにせよ医師会から詳細を確認しこれから予定の久慈市や花巻市の進行状況をみてからになる。

今年度できなかった北日本支部医学検査学会について、来年度予定の北海道技師会からは来年岩手県で開催するのであれば行ってもよいと返事は頂いている。まずは会場を押しえられるか（10月くらい）山田プランニングに相談してみる。賛助会員には今年度の開催は中止とし、来年度以降どうなるかは追って連絡する文章を提出する。また参加メーカー各社にも同様に行く。会計についてはポスター作成等使用した分の金額の詳細がわかる決算書を技師会に提出する。（会場費は来年度に移行させる）ポケー座に開催中止のお断りを伝える。また、各部門長には会長よりサイボウズでお断りの文章を掲載した。

II. 各事業について

2020 年度定時総会議案書に則り令和元年度事業に関する一般経過報告を行森会長より説明あり。

1) 総務部（菊池）

会員の親睦ということで登山を企画し成立した。今年度は会員名簿の更新時期ではなかった。事務連絡等についてはサイボウズを活用してきた。

2) 学術部（畠山）

岩手医学検査学会が無事終了。精度管理調査については報告会が新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止になった。2月以降の研修会は中止などもあり例年に比べると33行事と少ない傾向だった。

3) 公益部（川村）

9月にガン予防啓発活動をあっぱりレーマラソンとして行った。11月には検査と健康展を無事に終わることができた。

4) 生涯教育（宮本）

開催された研修会は33回で、2月から3月の研修会ができなかったことが件数の伸び悩みに関わったと思われる。

5) 精度管理（千葉）

精度管理報告会は中止。調査自体は例年通り開催した。

6) 令和元年度収支決算（高橋）

今年度は収支決算が黒字となった。

7) 事務局（下川）

特になし。

8) その他

日臨技からのお知らせ等

令和2年度 全国「検査と健康展」の実施について

令和2年度日臨技全国「検査と健康展」の「中央会場」は中止とし、47都道府県での地方開催とする。地方会場につきましては、各都道府県技師会の判断とし年度内（会計の関係上2月まで）の開催を認める。

(い わ て)

→岩手県技師会は令和2年度の開催は中止することとした。

令和2年度医療安全管理者養成講習会の開催中止

すでに医療安全管理者として認定されている方は認定期間の1年延長の措置をとる。

日臨技認定制度の今年度1年間の凍結について

今年度(令和2年度)1年間の各認定に関する認定センター主催の研修会および認定試験等をすべて中止とし、資格更新については一律に1年間の更新時期の延期を認めることとした。

令和2年度精度保証施設認定制度認証基準の審査要求の変更について

「都道府県主催外部精度管理調査結果」等の審査要求事項は対象としない。

支部医学検査学会・支部主催研修会について

支部医学検査学会は年度内の中止、支部主催研修会は年内の中止

令和2年度都道府県技師会主催研修会・講習会の運用について

オンライン研修会に関する暫定措置が決まった。

研修会資料(動画URL含む)を配布(配信)する研修会

オンライン(Webex・Zoom等のWebシステム使用)研修会

生涯教育点数は通常と同様

参加確認方法は研修会担当者へのレポート提出で2週間以内に提出があった会員に対して点数を付与する。オンラインやビデオ等を使用し行った研修会も生涯教育助成金の対象となる。

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、部門長と各地区会長にはサイボウズで年内の集客としての研修会は開催せず、Zoom等のオンラインを使用した研修会を開催する場合は事前申請するよう通達する。

医学検査の冊子について投稿があったので査読を諏訪部先生にお願いする。

日臨技の議決権行使書の提出をお願いいたします。

会員名簿について今年度は日臨技のWebを利用しようと思うが、移動の変更をしていない会員がおり、また登録メールが県立病院だと共有端末のメールアドレスを登録している会員がいるので個人メールアドレスの登録をお願いするよう呼びかけをおこなう。

日臨技より事務局に新型コロナウイルス関連の周知メール等が頻繁に送られてくるが、岩臨技のホームページには内容を吟味して必要なもののみを掲載することにする。

定期総会について過半数の議決権行使をいただきましたので内容について承認となります。ありがとうございました。

研修会等のご案内

第69回 日本医学検査学会

テーマ『Jump to the Next Decade～臨床検査の新たな道を切り拓く～』は

日時：令和2年9月5日(土)・6日(日)

会場：幕張メッセ国際会議場・国際展示ホール

に変更になりました。開催規模や形態等の詳細については追って学会ホームページをご確認の程よろしくお願い致します。



今回の『つなぐ』は岩手県立二戸病院の油川舜さんです

“つなぐ”

県立久慈病院の工藤くんから引継ぎました、県立二戸病院の油川舜です。工藤くんとは大学時代からの友人で、僕の実家の車でいろいろ遊びに行ったのは良い思い出です。工藤くんには本当にたくさんの借りがあり、泥酔していたところを保護してもらったり、テストで追い込まれたときに大事なところを教えてもらったり、就職の相談にのってもらったり、枚挙にいとまがありません。いつもありがとう。「つなぐ」の話をもたらしたときは二つ返事で引き受けました。

油川というあまり見ない苗字をしていますが、青森県の弘前市出身です。(地元でも珍しいです。)弘前は夏は暑い、冬は雪がたくさん降るし本当に大変な町で、岩手に来てからは雪が少ないだけで幸せです。そんな故郷の良いところの一つあげると、弘前公園の桜は本当にきれいです。今年はコロナの影響で公園には入れなかったようですが、流行が落ち着いた頃には、是非、春の弘前を訪れてみて下さい。



「つなぐ」のテーマですが、細々と続けている趣味のランニングについて書こうと思います。もともと、

中学校から大学まで陸上部だったこともあり、運動不足解消のために手っ取り早く始めたのがきっかけでした。学生時代は跳躍競技だったので、長い距離を走るのには苦手で、ゆっくり走っては歩いて、またゆっくり走って、をいつもくり返しています。すぐ息が上がってしまうのですが、走っている間の無心になれる感じが個人的にはとても好きで、疲れて帰ったときとかなぜか無性に走りたくなります。一人でこっそりやっていた趣味だったのですが、菊池副会長にお声がけいただき、秋に行われる安比リレーマラソンに3年前から参加しています。普段は自分のペースで走っているだけなので、僕の体力では結構大変でへろへろで帰ってきます。最後の上り坂が本当にきつくて…。当日はいつも満身創痍ですが、順番を待つ間や、走り終わった後など、なかなかお会いできない他地区の皆さんとお話することができ、楽しい時間を過ごしています。細々と続けているランニングですが、それがきっかけでいろいろな人とつながることが出来たので、小さなことでも続けてみるのは大事だなと感じています。去年の秋くらいに腰を痛めてしまい、走る回数が減っていたのですが、運動しやすい気温にもなってきたので、気分転換を兼ねてまた走り始めようかなと思います。



次回は、一緒に登山に行ったり、スキーに行ったり

と山でよく会う、県立宮古病院の工藤駿一朗くんにつなごうと思います。急な頼みを引き受けてくれてありがとう。よろしくお願いします。

お知らせ

第9回北日本支部医学検査学会について、日本臨床衛生検査技師会より「令和2年度支部医学検査学会につきましては新型コロナウイルス感染拡大を勘案し開催を中止することといたしましたのでご承知くださいますようお願い申し上げます。」との通達がございましたので、本年度の開催は中止となります。ご了承の程よろしくようお願い申し上げます。

会員名簿更新にあたり総務部からのお願い

今年度は岩臨技の会員名簿更新の時期となっております。

例年ですと、確認作業を各地区会長さんの多大なご協力のもとで行ってまいりました。

負担をかけた割には、修正しきれず会員の皆様にはご迷惑をかけて参りました。

そこで、理事会等で協議した結果日臨技の名簿を活用した方がいいのではないかという意見があり、今回この方法でやってみることにしました。

そのためには、会員各自がログインして修正してもらわなければなりません。

特に県立病院の方々は転勤もあり所属が変わっている方も多いと思います。本来その時点で変更手続きをしてもらわなければならないのですが、慌ただしくて後回しになっている方も多いと思います。気が付かないでいる方もいると思いますので、これを機に一度ログインして確認をお願いします。

そこで、現状と違っていることが判明されたならば速やかに訂正をお願いします。

あと、事務局からのお願いですが、日臨技に登録されているメールアドレスで県立病院の多くの方は共有端末で登録されていますが、支障がなければ個人のアドレスでの登録をお願いします。連絡事項がうまく伝わらなかった事例が何件か発生したそうです。名簿には個人のアドレスは載せません。変更のある方は10月末までに修正を終えるようお願いいたします。名簿作成に当たっては変更されていることを前提で作成します。年内発行を目指していますので、お忙しいところ恐縮ですが皆様のご協力をよろしく申し上げます。

～編集後記～

新型コロナウイルス感染症が多くの人に浸透して半年が過ぎようとしています。手洗いや手指消毒が当たり前になりましたが、マスクの着用は炎天下のなかではどうなるのでしょうか？考えると頭がぼーっとしてきます。まずは水分補給を十分にして熱中症対策をしなければです。皆様も体調を崩さないようご自愛ください。

会報「いわて」第331号 2020.6

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会

発行人：

会 長：行森 良一

事 務 局：下川 波歩

編集責任者：村上 美月

山崎 勝登志

〒020-8505 盛岡市内丸19-1 岩手医大中検内

Tel.(019)613-6111 内線3699 Fax.(019)654-8510

<http://www.iwateamt.or.jp/>

会報専用メールアドレス：

kaiho@iwateamt.or.jp